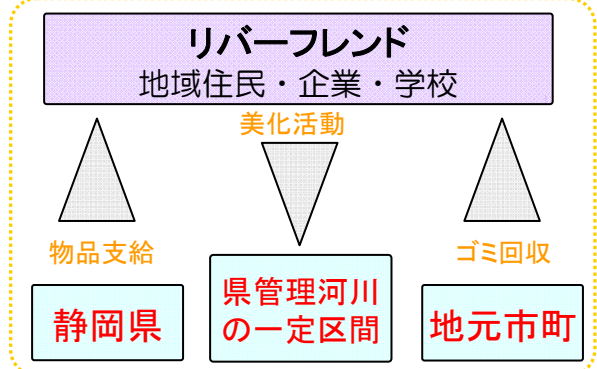


リバーフレンド団体(焼津市内)との河川維持管理に関する講習会・意見交換会と、 “みち～満ち・充ちミーティング”を合同開催しました。

・平成23年12月26日(月)に、焼津市内のリバーフレンドシップ※団体代表者25名にご参加いただき、リバーフレンドシップ活動に関する講習会・意見交換会と、静岡県のみちづくりに関する“みち～満ち・充ちミーティング”を開催しました。

・河川維持管理に関する講習会では、リバーフレンドシップ活動時における河川施設の異状発見のポイントを、事例写真を用いて説明した後、現在の活動の課題や問題点などについて、活発な意見交換が行われました。

・“みち～満ち・充ちミーティング”では、静岡県の道路の現状と課題、新たな取組について説明した後、今後の“みちづくり”について、意見交換が行われました。



※リバーフレンドシップとは
住民と行政による協働事業です。
住民・河川利用者等がリバーフレンド(川のともだち)となり、川の清掃や除草等の河川美化活動を行うことにより、地域全体で身近な環境保護への関心を高めることを目的としており、県と市がその活動を支援しております。

河川の維持管理に関する講習会・意見交換会 “みち～満ち・充ちミーティング”の様子



主な意見

- リバーフレンドシップ活動に関して
『参加者の高齢化・人員不足』
『物品支援の充実・拡大、支給時期の改善』など
多くの課題や要望の意見がありました。
予算の制約がありますが、可能なことは対応していきます。各団体の過度の負担にならない範囲で、活動をお願いします。
- 静岡県のみちづくりについて
『事業着手準備制度はすべての事業が対象になるのか？早めに地元説明など対応して欲しい』などの質問がありました。
同制度は生活に身近な道路の整備が対象であり、県の主要施策に位置づけられた大規模事業では、別途、さらに密度の濃い意見交換を行っています。



お忙しいところ多数の方々の参加をいただきまして、ありがとうございました。
今後とも、リバーフレンドシップの活動をはじめ、県の社会基盤整備へのご理解・ご協力をお願いいたします。
ご意見・ご要望もお願いいたします。